

一般会計決算審査特別委員会産業建設分科会会議録

- 1 日 時 令和5年9月7日(木曜日)
開会 午前10時 6分
閉会 午前10時46分
- 2 場 所 第1委員会室
- 3 出席又は欠席した委員の氏名
(出席) 副委員長 三 上 周 治
委 員 太 田 善 介 委 員 仁 熊 進
委 員 小 西 利 一 委 員 頓 宮 美津子
委 員 加 藤 保 博
(欠席) 委員長 小 川 進 一
(その他出席者) 副議長 山 口 久 子
- 4 職務のため出席した議会事務局職員の職氏名
議会事務局長 西 村 佳 子 同次長 宇 野 裕
同議事係主任 東 宗 利
- 5 説明のため出席した者の職氏名
副市長 中島 邦夫 政策監 難波 敏文
総合政策部長 梅田 政徳 政策調整課長 岡本 紀子
財政課長 横田 優子 財政課主幹 岡 真理
産業部長 西川 茂 農林課長 小川 正義
農林課主幹 中山 知輝 観光プロジェクト課長 赤木 郁哉
観光プロジェクト課主幹 坂田 圭 企業誘致商工振興課長 林 啓二
建設部長 河田 秀則 建設部参与 赤澤 康明
地域応援課長 角田 琢美 地域応援課主幹 但野 泰利
土木課長 矢木 武司 都市計画課長 荒木 久典
建築住宅課長 八重 信幸 環境水道部長 三宅 伸明
上水道課長 山本 竜三 下水道課長 木村 勝彦
下水道課主幹 岡崎 一 環境課長 国府 英三
監査委員 風早 俊昭 監査委員 頓宮 美津子
監査事務局長 矢吹 慎一
- 6 付議事件及びその結果
付議事件 認定第1号令和4年度総社市一般会計歳入歳出決算認定について
のうち、本分科会に分担された部分
結 果 認定すべきである
- 7 議事経過の概要 別紙のとおり
- 8 その他必要な事項 別紙のとおり

開会 午前10時6分

○副委員長（三上周治君） ただいまから一般会計決算審査特別委員会産業建設分科会を開会いたします。

では、認定第1号 令和4年総社市一般会計歳入歳出決算認定についてのうち、本分科会の担当する部分の審査に入ります。

なお、審査順序は歳出から歳入の順に行いますので、御了承を願います。

決算調書を活用しての質疑は、まずは調書のページ数を言っただき、次に款項目、事業名を言った後、主要な事務事業の概要の内容を限定してから質疑に入っただくようお願いします。

なお、決算審査に係る当局の説明については省略することとしておりますので、御了承願います。

まず、歳出、第2款総務費、第3款民生費、第4款衛生費のうち、本分科会の担当する部分の審査に入ります。

これより、質疑に入ります。

質疑はありませんか。

太田委員。

○委員（太田善介君） 調書の235ページ、第4款衛生費、第1項保健衛生費、第6目廃棄物対策費で、予算執行率が54.1%で、不法投棄看板等の管理対象箇所ということで、何箇所実施できたのか教えてください。

○副委員長（三上周治君） 環境課長。

○環境課長（国府英三君） 不法投棄看板の設置箇所でございますが、9箇所設置をいたしております。

以上です。

○副委員長（三上周治君） 太田委員。

○委員（太田善介君） ありがとうございます。

あと、不法投棄の未然防止を図るため継続的なパトロールを続けていくとのことですが、令和4年度の実績等はどうか。

○副委員長（三上周治君） 環境課長。

○環境課長（国府英三君） 不法投棄の令和4年度の実績でございますが、88回実施をいたしております。回収いたしました不法投棄のごみにつきましては、5トン回収をいたしております。

以上でございます。

○副委員長（三上周治君） 他に質疑はありませんか。

小西委員。

○委員（小西利一君） 調書の234ページ、第4款衛生費、第1項保健衛生費、第6目廃棄物対策費で、ごみの減量化事業で、これ執行率が70.2%ですけど、どの部分が予算に比べて決算が少な

ったのか、報償費とかその辺でしょうかね。ちょっと教えてください。

○副委員長（三上周治君） 環境課長。

○環境課長（国府英三君） 小西委員の御質問の執行率の低い箇所につきましては、主に報償費、資源回収報奨金につきましては執行率が低くございました。この理由につきましては、コロナ禍での資源回収ということで、少し思うように活動ができなかった点と、民間での回収が非常に盛んに増えたということで、PTA、それから子ども会などの回収の実績が減っております。

以上でございます。

○副委員長（三上周治君） 小西委員。

○委員（小西利一君） 子ども会とかPTAが一応廃品回収をやってるんですけど、地区によっては本当に子どもの数が減ったということは親の数も減ってて、なかなかその資源回収に参加できる人も少なくなって難しい状況なんで、これ、そういう活動がだんだん先細りになってくるような気がするんですけど、その点はもう仕方がないと思われているのですかね。もう多分地域によってやめちゃうんじゃないかという懸念もあるんですけど、その廃品回収とか。

○副委員長（三上周治君） 環境課長。

○環境課長（国府英三君） 資源回収の活動につきましては、加入いただいている団体数、令和4年度でいきますと106団体が登録して活動いただいております。この登録数につきましては多少の減少はあるものの、ほぼ横ばい状態で推移いたしております。ここ3、4年、コロナで活動が少し低迷、思うように活動できなくて資源回収の量というのが減ってはおりますが、それ以前につきましては、平成29年と比較をしているんですが、特に新聞、雑誌の発行部数というのがデジタル化の影響もありまして非常に減っております。パーセントでいうと古紙などの回収が20%減ってるという点では、この報償費の金額は減っております。ですが、団体数のほうがほぼ横ばい状態ということで、今後についてもこのごみの資源活動についてはしっかり応援していきたいとして思っております。

以上です。

○副委員長（三上周治君） 小西委員。

○委員（小西利一君） それで、資源回収の報奨金のkg当たり8円というのは、もうずっと同じなのですかね。

○副委員長（三上周治君） 環境課長。

○環境課長（国府英三君） 令和4年度につきましては、kg当たり8円の交付をいたしております。この単価につきましては、平成17年から金額については8円を交付しております。

以上です。

○副委員長（三上周治君） 小西委員。

○委員（小西利一君） ということは、令和5年度も今やっている事業についてはkg当たり8円ということで、これ平成17年からもう全然変わってないですよ。これkg当たり10円とか、そんなふ

うには、来年度でなると思うんですけど、そういう形にはならない、これどなたが決めてるんですか。

○副委員長（三上周治君） 環境課長。

○環境課長（国府英三君） このkg当たり8円につきましては平成17年から変わっておりませんが、平成元年、この制度を開始した頃は4円というところで、長い月日の変遷を受けて今8円で行っております。

この単価につきましては、廃棄物減量推進審議会、こちらのほうの審議を諮った上で価格を決定いたしております。この金額が適正かどうか、再度よく検討をしながら取り組んでいきたいと思えます。

○副委員長（三上周治君） 小西委員。

○委員（小西利一君） ありがとうございます。

あと、調書の227ページの第4款衛生費、第1項保健衛生費、第6目環境衛生費の中、浄化槽設置整備事業補助金ですけど、令和4年度の実績が相当よくて、令和5年度の予算にはもう相当増えた額が計上されてるんですけど、現状今年度ももういっぱいぐらいの形で、その申請とかは来たんですかね。

○副委員長（三上周治君） 下水道課長。

○下水道課長（木村勝彦君） 浄化槽設置の補助についてでございますが、令和5年度の昨日現在の補助基数が今95基でございます。去年は104基だったんですが、今年はもう少しくらいは増えるかなとは思っております。

以上です。

○副委員長（三上周治君） 小西委員。

○委員（小西利一君） 令和4年度が104基で、今現在もう95基ということは、まだ半年もたっていないんですけど、一応これ上限は決めて、もうこれ以上の申請は受け付けないという形なんですか、それよりももうどんどんまだ補助の受付をするということでもいいんですか。

○副委員長（三上周治君） 下水道課長。

○下水道課長（木村勝彦君） 本年度予定しておりますのが、予算では150基を予定しております、現在95基というところで、一応受付は11月いっぱいを予定しております。新築の家とかだったら大体11月いっぱいを受けて3月の年度内に完成かなというところで、それを一つの区切りとはさせていただきます。

以上です。

○副委員長（三上周治君） 小西委員。

○委員（小西利一君） 5月の予算のときに、転入した人に対して合併浄化槽の補助を上限30万円までで2分の1というのを決めてるんですけど、この転入した方への実績は分かりますか。

○副委員長（三上周治君） 小西委員、決算。

(「分かりました」と呼ぶ者あり)

○副委員長(三上周治君) 当局、答えられますか。

(「余談ですけど」と呼ぶ者あり)

(「言えばいいんですかね」と呼ぶ者あり)

○副委員長(三上周治君) 下水道課長。

○下水道課長(木村勝彦君) 令和5年度で新たに予定した転入者の方へは、本年度は今のところ実績はございません。

(「ありがとうございます。よろしく申し上げます」と呼ぶ者あり)

○副委員長(三上周治君) 他に質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○副委員長(三上周治君) 説明員の方の入替えがありますか。

休憩します。

休憩 午前10時13分

再開 午前10時13分

○副委員長(三上周治君) 休憩を閉じます。

次に第5款労働費、第6款農林業費、第7款商工業の審査に入ります。

これより、質疑に入ります。

質疑はありませんか。

太田委員。

○委員(太田善介君) 調書の252ページの第6款農林業費、第1項農業費、第2目農業総務費の優良農業者表彰経費なんですけども、対象が1人になったと思いますけれども、選考方法とかはどうなっていますでしょうか。

○副委員長(三上周治君) 農林課長。

○農林課長(小川正義君) 選考方法につきましては、各農業関連団体からの推薦をまず受けまします。その関連団体といいますのが、農業委員会、それからJA晴れの国岡山、それから備南広域農業普及指導センターと岡山県の農業共済組合、この4団体から候補者というか、推薦をいただくという形になっております。その後審査会がありますけれども、その審査会メンバーとしましては、副市長、そして産業部長、それから農業委員会の会長、それと晴れの国岡山農業協同組合の吉備路アグリセンター長、それから備南広域農業普及指導センター所長、そして岡山県の農業共済組合の倉敷支所長、この方々のメンバーで、その方についての内容を審査していただいて、今回お一人を選定させていただいております。

以上でございます。

○副委員長(三上周治君) 太田委員。

○委員(太田善介君) 続いてなんですけど、調書の263ページ、第6款農林業費、第1項農業

費、第3目農業振興費の有害鳥獣対策事業についてなんですけども、この報奨金は足りたのでしょうか。

○副委員長（三上周治君） 農林課長。

○農林課長（小川正義君） 報奨金につきましては、予算が813万4,000円でしたが、今回の決算につきましては648万円でした。執行率としましては79.7%でございます。

以上でございます。

○副委員長（三上周治君） 太田委員。

○委員（太田善介君） あと、この捕獲数に関してなんですけども、上限は設けられてて、適切だったのでしょうか。

○副委員長（三上周治君） 農林課長。

○農林課長（小川正義君） 捕獲頭数につきましては、年々その捕獲頭数というのはまちまちでございまして、近年でいいますと令和元年度が結構捕獲頭数がございました。そこをベースに予算取りをさせていただいております、捕獲頭数としましては、今回予算上は818頭という予算で取らせていただいておりますが、決算としましては798頭でございました。

以上でございます。

○副委員長（三上周治君） 他に質疑はありませんか。

小西委員。

○委員（小西利一君） 調書289ページ、第7款商工費、第1項商工費、第3目観光費なんですけど、観光一般経費で財源2,400万円使ってて、執行率も87%なんですけど、ほぼ予定どおりの執行をされたんじゃないかと思うんですけど、コロナが徐々に収束しかけてきて、令和4年度、今年度とあるんですから、実績として観光客の推移とかはデータ的にあるんですか、令和4年度の。

○副委員長（三上周治君） 観光プロジェクト課長。

○観光プロジェクト課長（赤木郁哉君）

観光客の動向でございますが、令和4年は64万人で、コロナ前の基準と比べまして84%まで回復しております、ちなみに令和3年が49万人という数字になっております。

○副委員長（三上周治君） 小西委員。

○委員（小西利一君） これは観光地ごとのデータも残ってんですかね。

○副委員長（三上周治君） 観光プロジェクト課長。

○観光プロジェクト課長（赤木郁哉君） 主だったところを申しますと、増加しているのが、例えば鬼ノ城でございます。平成30年のコロナ禍前のときが4万8,000人、それが令和4年では6万2,000人で30%の増、あと砂川公園のほうも、3万2,000人だった平成30年の頃が令和4年では4万8,000人の50%増、逆に国民宿舎サンロード吉備路とかは26万人が18万人で30%の減、サントピア岡山総社が、平成30年の25万人が令和4年は15万人の40%減というような状況で、先ほど申しましたコロナ禍前に比べて、やや回復基調であると言えます。

○副委員長（三上周治君） 小西委員。

○委員（小西利一君） なかなか観光のほうに難しいんですけど、徐々に外国の方も戻ってきとられるんですけど、その外国人の観光客も把握できるようなシステムになってるんですかね。それはもう全く分からないんですかね。

○副委員長（三上周治君） 観光プロジェクト課長。

○観光プロジェクト課長（赤木郁哉君） 外国人につきましては、本市では観光案内所のほうで接客された数として確認できる程度でしかございませんが、ちなみに申しますと、案内所の対応した数が、令和4年度は1万5,497人、そのうち外国人観光客は121人です。ちなみにコロナ禍前の平成30年の頃は、トータルで1万7,433人の案内所の御案内の中で、外国人の方は1,763人という状況でございます。

（「なるほど。ありがとうございました」と呼ぶ者あり）

○副委員長（三上周治君） 私から申し上げます。

冒頭申しましたように、決算調書を活用しての質疑は、まずは調書のページ数を言っていたらき、次に款項目、事業名を言った後の発言をよろしくお願いします。

他に質疑はありませんか。

仁熊委員。

○委員（仁熊 進君） 第7款商工費、第1項商工費。

○副委員長（三上周治君） ページ数。

○委員（仁熊 進君）（続） ごめんなさい、290ページです。

第7款商工費、第1項商工費、第1目観光費の観光施設管理経費のうち、役務費の中にある手数料にあります通信運搬費、観光地のフリーWi-Fiについてお聞きします。

これ、フリーWi-Fiが設置されている場所はどこになりますでしょうか。

○副委員長（三上周治君） 観光プロジェクト課長。

○観光プロジェクト課長（赤木郁哉君） 市内では4箇所ございまして、備中国分寺、宝福寺、総社駅、ここ総社市役所の4箇所でございます。

（「ありがとうございます。以上でございます」と呼ぶ者あり）

○副委員長（三上周治君） 他に質疑はありませんか。

小西委員。

○委員（小西利一君） 調書の255ページで、第6款農林業費、第1項農業費、第3目農業振興費の中、農地利用集積推進事業なんですけど、これは執行率が65.5%なんですけど、これは予定よりもその流動化推進員の報償費が少ないということは、その流動化がうまくいかなかったということですか、そういうことでよかったですかね。

○副委員長（三上周治君） 農林課長。

○農林課長（小川正義君） この執行率が低い理由についてでございますが、今決算調書で流動化

推進員の報奨金という形で上げさせていただいておりますが、予算では別にもう一つ予算を取っておりまして、農地利用集積事業補助金という分は地域で話し合いをしていただいて、新しい担い手の方につないだ場合に国から補助が下りるという事業がございました。その予算を100万円計上しておりまして、今回その地区が、いや、ちょっと難しいと最後までとまらず、この補助金を使うことができなかったために執行が、残として残っている状態でございます。

以上でございます。

○副委員長（三上周治君） 小西委員。

○委員（小西利一君） これもちよっと難しい話なんですけど、農業のことが常々もう議会でも問題になってて、流動化推進員の人の数を増やすとか報奨金を増やすとか、そういう形で耕作放棄地を減していくというようなことをやっとなんですけど、この決算から見ても、そういうことにもっとかじを切るような感じなんですかね。そこら辺の、この結果を踏まえて。

○副委員長（三上周治君） 農林課長。

○農林課長（小川正義君） もちろん今後の総社市の農業を守っていくためには、荒廃地等を防ぐために新しい担い手の方を当然つないでいかないといけないんですけども、今回の決算上、流動化推進員のいわゆる契約の件数というのが、新規が366件、更新が570件で936件ございました。前年とかその前々年、令和3年、令和2年度の件数でいきますと647件であるとか859件という形で、今年度につきましてはちょっと契約数が多い状態でございます。今後も当然そういう形で契約数を増やしていければ、特に新規の方を増やしていけるように市のほうも支援しながらやっていきたいと思っております。

以上でございます。

（「よろしい」と呼ぶ者あり）

○副委員長（三上周治君） 他にありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員（小西利一君） ないようでありますので、この際、入替えのため休憩いたします。

休憩 午前10時32分

再開 午前10時34分

○副委員長（三上周治君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

次に、第8款土木費、第10款教育費及び第11款災害復旧費のうち、本分科会の担当する部分の審査に入ります。

これより、質疑に入ります。

質疑はありませんか。

太田委員。

○委員（太田善介君） 調書の299ページ、第8款土木費、第1項土木管理費、第1目土木総務費の小規模工事等経費に関してですが、44.9%ということなんですけども、要望の何割程度を執行できた

のでしょうか。

○副委員長（三上周治君） 地域応援課長。

○地域応援課長（角田琢美君） 太田委員の御質問にお答えいたします。

執行率が44.9%、要望に対しましては、土木担当員からの要望というふうに回答をさせていただきたいと思いますが、令和4年度の申請率に対して0.7%の要望の件数でございます。

以上です。

（「何%」と呼ぶ者あり）

（「すみません」と呼ぶ者あり）

○副委員長（三上周治君） 地域応援課長。

○地域応援課長（角田琢美君） 小規模工事で見ますと、全体で16件をさせていただきました。これはもう100%執行でございます。予算上は、金額の執行率は低くございますが、昨年度の話でありますと、要望に対して小規模工事のほうでお願いはしたんですが、地元のほうの人間が集まらなかったとかということで、予定していた金額が執行できなかったということでございます。

以上です。

○副委員長（三上周治君） 太田委員。

○委員（太田善介君） 16件で0.7%ということですか。

○副委員長（三上周治君） 地域応援課長。

○地域応援課長（角田琢美君） 申し訳ありません。

小規模工事として、全体で16件、土木担当要望としては3件の要望に対して小規模工事で対応したという内容でございます。

以上でございます。

○副委員長（三上周治君） 太田委員。

○委員（太田善介君） すみません、ちょっと僕が頭悪いんか、16、3件、16件の要望のうち3件ということですか、違うんですか。

○副委員長（三上周治君） 地域応援課長。

○地域応援課長（角田琢美君） 再度の御質問にお答えします。

要望は16件でございます。

以上です。

○副委員長（三上周治君） 太田委員。

○委員（太田善介君） あと、小規模工事の利用促進の何か対策とかはされてますでしょうか。

○副委員長（三上周治君） 地域応援課長。

○地域応援課長（角田琢美君） 太田委員の御質問でございます対策につきましては、調書にもありますとおりしっかりと利用をしていただく方向で進めているところではございますが、なかなか人の集まりというのがだんだん少なくなっているというのが現状でございます、予算としては取ら

せていただいておりますが、地域としてなかなかその人数を持ってやるというふうなところに至っていないところが現状です。これにつきましては、しっかり地域のほうに助けていただくという体制で応えていきたいと思ひますし、お願いしてまいりたいと思ひます。

以上です。

○副委員長（三上周治君） 太田委員。

○委員（太田善介君） 続いて、調書は301ページ、第8款土木費、第2項道路橋りょう費、第2目道路維持費で除草等委託料34件に関して、要望はどのくらいもともあつたんでしょうか。

○副委員長（三上周治君） 地域応援課長。

○地域応援課長（角田琢美君） 太田委員の御質問でございます。

全体の34件、要望は従来からのものも含めて全部でございます。

○副委員長（三上周治君） 他に質疑はありませんか。

小西委員。

○委員（小西利一君） 調書304ページ、第8款土木費、第2項道路橋りょう費、第2目道路維持費ですけど、令和4年度でも総社駅の時計の予算で2,000万円取つといて、これ繰越しになって、令和6年3月に完成つてなんですけど、もうそろそろ決まつているんじゃないかと思うんですけど、なかなか決まつてない。もう1年以上になるんですけども。

○副委員長（三上周治君） 地域応援課長。

○地域応援課長（角田琢美君） 小西委員の御質問にお答えいたします。

大変遅くなつて迷惑をおかけしているところでございます。時計につきましては、もう速やかに進めていく日程で進んでいるところでございます。遅くなつたものにつきましては、周りからも声は聞いています。私が4月以降で、現地も確認しながらというふうな判断で進めさせていただいたところでございます。

以上でございます。

○副委員長（三上周治君） 小西委員。

○委員（小西利一君） 大体でいいんですけど、私もよく聞かれるんで、いつできるか、大体予定決まつてます、もう。

○副委員長（三上周治君） 私より申し上げますが、決算だから、令和4年度予算に関する決算だから、答えてええんか。

○委員（小西利一君）（続） 理由は、ほんなら。

○副委員長（三上周治君） 分かる範囲でお願いします。

地域応援課長。

○地域応援課長（角田琢美君） 小西委員の再度の御質問にお答えいたします。

時計のスケジュールというふうな形でお答えさせていただきたいと思ひます。時計のみの制作が3箇月かかります。設置については1箇月を見たいと思ひます。早ければ年明けには設置できると

と思いますが、繰越予算の予定どおり年度内には完成したいというふうに思っております。

以上でございます。

(「分かりました。ありがとう」と呼ぶ者あり)

○副委員長(三上周治君) 他に質疑はありませんか。

太田委員。

○委員(太田善介君) 調書の310ページ、第8款土木費、第2項道路橋りょう費、第3目道路新設改良費に関して、執行率が50.3%ですが、この要因を教えてください。

○副委員長(三上周治君) 土木課長。

○土木課長(矢木武司君) 太田委員の質問にお答えいたします。

執行率が低いのは、当初3件舗装の新設箇所を予定しておりましたが、そのうち1箇所が通学路であり、教育総務課の通学路対策の予算を使って施工したことにより残が出たものでございます。

以上でございます。

○副委員長(三上周治君) 他にありませんか。他に質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○副委員長(三上周治君) ないようでありますので、次に、歳入のうち本分科会の担当する部分の審査に入ります。

これより、質疑に入ります。

質疑はありませんか。質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○副委員長(三上周治君) それでは、ないようでありますので、全体を通じて質疑漏れはありませんか。

小西委員。

○委員(小西利一君) すみません、さっき聞けばよかったんですけど、調書の427ページの第11款災害復旧費、第1項災害応急費、第1目災害応急費の件です。

一応予算は179万円取って、執行率ゼロと、避難所を開設するほど大きな災害は発生しなかったということですけど、常にこれは災害が発生するたびに……。

(「427です」と呼ぶ者あり)

(「何、427、ごめんなさい」と呼ぶ者あり)

○副委員長(三上周治君) 災害復旧費じゃからうちじゃねえわ。

(「こっちこっちじゃねんか。これは違うんか」と呼ぶ者あり)

(「危機管理」と呼ぶ者あり)

○副委員長(三上周治君) 危機管理、ごめんなさい。

(「まあええわ、ほんなら、ありがとう」と呼ぶ者あり)

○副委員長(三上周治君) また後ほど聞いてください。

(「そうか、ここじゃねんか」と呼ぶ者あり)

○副委員長(三上周治君) 全体を通じて、質疑はほかにはありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○副委員長(三上周治君) これをもって、質疑を終結いたします。

これより、本件のうち本分科会に分担された分についての取りまとめをいたしたいと思ひます。
念のため申し上げます。

分科会でありますので、本件に対する討論、採決はできませんが、取りまとめの方法としてお諮りいたします。

本件のうち、本分科会の担当する部分については認定すべきであると取りまとめることに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○副委員長(三上周治君) 御異議なしと認めます。

よって、その旨9月13日に開催が予定されております一般会計決算審査特別委員会に本分科会の状況を報告いたします。

以上で、本分科会を閉会いたします。

閉会 午前10時46分

総社市議会委員会条例第30条第1項の規定により、ここに押印する。

産業建設分科会副委員長 三 上 周 治